

大分大学大学院 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

| 福祉健康科学研究科健康医科学コース 【修士（健康医科学）】 |  | 高度な知識と知的能力  | 確かな研究マネジメント能力   | 社会を牽引する能力 |
|-------------------------------|--|---|---|-----------|
| ディプロマ・ポリシー                    | <p>大分大学大学院のディプロマ・ポリシーのもと、既定の教育課程を修了し、以下の能力を修得した学生に、修士（健康医科学）の学位を授与します。</p> <p>福祉健康科学研究科福祉健康科学専攻（修士課程）は、医療・福祉・心理の3領域の結節を進めるとともに、「より高度な支援の実践力」と「科学的・論理的思考に基づいた研究力」を身につけ、地域共生社会の実現を担うことのできるパイオニアを養成する。</p>                              | <p>ディプロマ・ポリシー1 実践力<br/>自らの専門領域に加え、医療、福祉、心理を俯瞰し、個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、福祉健康科学及び健康医科学を深く理解し、医療に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。</p>  | <p>ディプロマ・ポリシー2 研究力<br/>自らの専門領域を基盤としつつ、医科学の視点や研究手法を取り入れ、福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、健康医科学に関する課題を明らかにし、健康医科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。</p> |           |
| カリキュラム・ポリシー                   | <p>学位授与の方針を実行・達成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施します。</p> <p>3コース合同で実施する「基礎科目」とコースを中心として実施する「発展科目」、研究に関する知識、研究の実際について学ぶ「研究展開科目」にて構成する。3コース合同で相互の学び合いや多領域を関係づけた学びを進め、「地域共生社会」に関する理解と支援の基盤を確実に養うとともに、各コースの詳細な学びを組み合わせることで、「地域共生社会」に関する学びを深める。</p> | <p>「基礎科目」の履修を通じて、「福祉健康科学」や「地域共生社会」の概念、及び医療、福祉、心理の各領域における「地域共生社会」の実現について考えを深めるとともに、地域・コミュニティを視野に入れた支援の展開についての説明ができる。</p> <p>「発展科目」の履修を通じて、医療、福祉、心理の各領域における支援実践と研究に関する、より詳細かつ高度な学修を通じて、「地域共生社会」を実現するために必要となる知識・技術・論理的思考力等を身につけ、支援や研究に活用できる。</p> <p>「研究展開科目」の履修を通じて、学位論文研究に関する知識と方法を修得する。さらに、領域横断型研究の実際についての学修を通して、隣接領域の支援や研究に活用できる。</p> |   |           |
|                               | 教育課程の編成と教育内容   |   |   |           |
|                               | 教育方法   | <p>「基礎科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。</p> <p>「発展科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。「医療関連科目群」、「福祉関連科目群」、「心理関連科目群」を設定し、所属するコース関連科目だけでなく、他領域の関連科目を学修する機会を設定する。</p> <p>「研究展開科目」は、3コース合同で開講する形式のものとして所属コースのゼミナールでの教育・指導するものと構成し、これらを連携しながら教育する。その他、領域横断型研究の実際を学ぶために、研究テーマに応じて他コースの教員を副指導教員に設定し教育する機会、指導教員が各年次の研究発表会において、所属するコース以外の発表会にも参加して、教育を実施する機会を設定する。</p>    |   |           |
|                               | 学修成果の評価  | <p>修士論文作成、最終審査については、研究論文の作成、発表に加え、研究倫理や情報リテラシーに関する e-learning の履修状況、成績を含め、総合的に評価する。</p> <p>研究科全体、ならびにコースごとに、全ての授業の成績、卒業生に対するアンケート、休学率・退学率などのデータを蓄積し、研究科教育の改善を継続的に行う。</p>  |   |           |

大分大学大学院 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

福祉健康科学研究科福祉社会科学コース 【修士（福祉社会科学）】

|             |  | 高度な知識と知的能力  | 確かな研究マネジメント能力   | 社会を牽引する能力 |
|-------------|--|---|---|-----------|
| ディプロマ・ポリシー  | <p>大分大学大学院のディプロマ・ポリシーのもと、既定の教育課程を修了し、以下の能力を修得した学生に、修士（福祉社会科学）の学位を授与します。</p> <p>福祉健康科学研究科福祉健康科学専攻（修士課程）は、医療・福祉・心理の3領域の結節を進めるとともに、「より高度な支援の実践力」と「科学的・論理的思考に基づいた研究力」を身につけ、地域共生社会の実現を担うことのできるパイオニアを養成する。</p>                             | <p>ディプロマ・ポリシー1 実践力<br/>自らの専門領域に加え、医療、福祉、心理を俯瞰し、個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、福祉健康科学及び福祉社会科学を深く理解し、福祉に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。</p> | <p>ディプロマ・ポリシー2 研究力<br/>自らの専門領域を基盤としつつ、医科学の視点や研究手法を取り入れ、福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、現代の福祉課題や地域の福祉ニーズを分析し、福祉社会科学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。</p>   |           |
| カリキュラム・ポリシー | <p>学位授与の方針を実行・達成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施します。</p> <p>3コース合同で実施する「基礎科目」とコースを中心として実施する「発展科目」、研究に関する知識、研究の実際について学ぶ「研究展開科目」にて構成する。3コース合同で相互の学び合いや多領域を関係づけた学びを進め、「地域共生社会」に関する理解と支援の基盤を確実に養うとともに、各コースの詳細な学びを組み合わせることで、「地域共生社会」に関する学びを深める。</p> | 教育課程の編成と教育内容  | <p>「基礎科目」の履修を通じて、「福祉健康科学」や「地域共生社会」の概念、及び医療、福祉、心理の各領域における「地域共生社会」の実現について考えを深めるとともに、地域・コミュニティを視野に入れた支援の展開についての説明ができる。</p> <p>「発展科目」の履修を通じて、医療、福祉、心理の各領域における支援実践と研究に関する、より詳細かつ高度な学修を通じて、「地域共生社会」を実現するために必要となる知識・技術・論理的思考力等を身につけ、支援や研究に活用できる。</p> <p>「研究展開科目」の履修を通じて、学位論文研究に関する知識と方法を修得する。さらに、領域横断型研究の実際についての学修を通して、隣接領域の支援や研究に活用できる。</p> |           |
|             |  | 教育方法  | <p>「基礎科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。</p> <p>「発展科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。「医療関連科目群」、「福祉関連科目群」、「心理関連科目群」を設定し、所属するコース関連科目だけでなく、他領域の関連科目を学修する機会を設定する。</p> <p>「研究展開科目」は、3コース合同で開講する形式のものとして所属コースのゼミナールでの教育・指導するものと構成し、これらを連携しながら教育する。その他、領域横断型研究の実際を学ぶために、研究テーマに応じて他コースの教員を副指導教員に設定し教育する機会、指導教員が各年次の研究発表会において、所属するコース以外の発表会にも参加して、教育を実施する機会を設定する。</p>    |           |
|             |  | 学修成果の評価   | <p>修士論文作成、最終審査については、研究論文の作成、発表に加え、研究倫理や情報リテラシーに関する e-learning の履修状況、成績を含め、総合的に評価する。</p> <p>研究科全体、ならびにコースごとに、全ての授業の成績、卒業生に対するアンケート、休学率・退学率などのデータを蓄積し、研究科教育の改善を継続的に行う。</p>  |           |
|             |  |   |   |           |

大分大学大学院 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

| 福祉健康科学研究科臨床心理学コース 【修士（心理学）】 |   | 高度な知識と知的能力   | 確かな研究マネジメント能力  | 社会を牽引する能力   |
|-----------------------------|---|--|--|---|
| ディプロマ・ポリシー                  | <p>大分大学大学院のディプロマ・ポリシーのもと、既定の教育課程を修了し、以下の能力を修得した学生に、修士（心理学）の学位を授与します。</p> <p>福祉健康科学研究科福祉健康科学専攻（修士課程）は、医療・福祉・心理の3領域の結節を進めるとともに、「より高度な支援の実践力」と「科学的・論理的思考に基づいた研究力」を身につけ、地域共生社会の実現を担うことのできるパイオニアを養成する。</p>                               | <p>ディプロマ・ポリシー1 実践力<br/>自らの専門領域に加え、医療、福祉、心理を俯瞰し、個人と地域を関係づけた多角的・総合的な支援を実践できる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、福祉健康科学と心理学を深く理解し、心の健康に関する諸問題に対して多角的・総合的にアプローチできる専門知識と技術を修得している。</p>  | <p>ディプロマ・ポリシー2 研究力<br/>自らの専門領域を基盤としつつ、医科学の視点や研究手法を取り入れ、福祉健康科学を深化させるための研究を進める上で必要となる知識と技術を修得している。</p> <p>特に、心の健康や心理学的支援に関する現代的課題を発見・分析し、臨床心理学を中心とする心理学の発展に向けた研究を進める上で必要な知識と技術を修得している。</p> |   |
| カリキュラム・ポリシー                 | <p>学位授与の方針を実行・達成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施する。</p> <p>3コース合同で実施する「基礎科目」とコースを中心として実施する「発展科目」、研究に関する知識、研究の実際について学ぶ「研究展開科目」にて構成する。3コース合同で相互の学び合いや多領域を関係づけた学びを進め、「地域共生社会」に関する理解と支援の基盤を確実に養うとともに、各コースの詳細な学びを組み合わせることで、「地域共生社会」に関する学びを深める。</p> | <p>「基礎科目」の履修を通じて、「福祉健康科学」や「地域共生社会」の概念、及び医療、福祉、心理の各領域における「地域共生社会」の実現について考えを深めるとともに、地域・コミュニティを視野に入れた支援の展開についての説明ができる。</p>  | <p>「発展科目」の履修を通じて、医療、福祉、心理の各領域における支援実践と研究に関する、より詳細かつ高度な学修を通じて、「地域共生社会」を実現するために必要となる知識・技術・論理的思考力等を身につけ、支援や研究に活用できる。</p>  | <p>「研究展開科目」の履修を通じて、学位論文研究に関する知識と方法を修得する。さらに、領域横断型研究の実際についての学修を通して、隣接領域の支援や研究に活用できる。</p> |
|                             | 教育課程の編成と教育内容  |  |  |   |
|                             | 教育方法  | <p>「基礎科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。</p> <p>「発展科目」は、講義形式、演習形式にて教育する。「医療関連科目群」、「福祉関連科目群」、「心理関連科目群」を設定し、所属するコース関連科目だけでなく、他領域の関連科目を学修する機会を設定する。</p> <p>「研究展開科目」は、3コース合同で開講する形式のものとして所属コースのゼミナールでの教育・指導するものと構成し、これらを連携しながら教育する。その他、領域横断型研究の実際を学ぶために、研究テーマに応じて他コースの教員を副指導教員に設定し教育する機会、指導教員が各年次の研究発表会において、所属するコース以外の発表会にも参加して、教育を実施する機会を設定する。</p> |  |   |
|                             | 学修成果の評価   | <p>修士論文作成、最終審査については、研究論文の作成、発表に加え、研究倫理や情報リテラシーに関する e-learning の履修状況、成績を含め、総合的に評価する。</p> <p>研究科全体、ならびにコースごとに、全ての授業の成績、卒業生に対するアンケート、休学率・退学率などのデータを蓄積し、研究科教育の改善を継続的に行う。</p>   |  |   |